

ファルマバレープロジェクト第4次戦略計画検討委員会
メディカル・デバイス・コリドー推進計画の
取組について



YAMANASHI

令和5年2月
山梨県 産業労働部

メディカル・デバイス・コリドー推進計画（R2.3策定）

趣 旨

本県機械電子産業の技術力等を活用し、医療機器関連産業を本県の基幹産業となるよう、県内企業の支援等を図ることにより、医療機器産業を、甲府盆地から静岡県東部の医療産業集積地の「ファルマバレー」を結ぶ一帯に集積する「**メディカル・デバイス・コリドー構想**」の実現を目指す

計画期間

R2年度からR4年度まで（総合計画と同じ）

目 標

医療機器関連分野参入企業数 総合計画：61社→100社

R3.10末 106社（目標達成） → **R4.12末 146社**

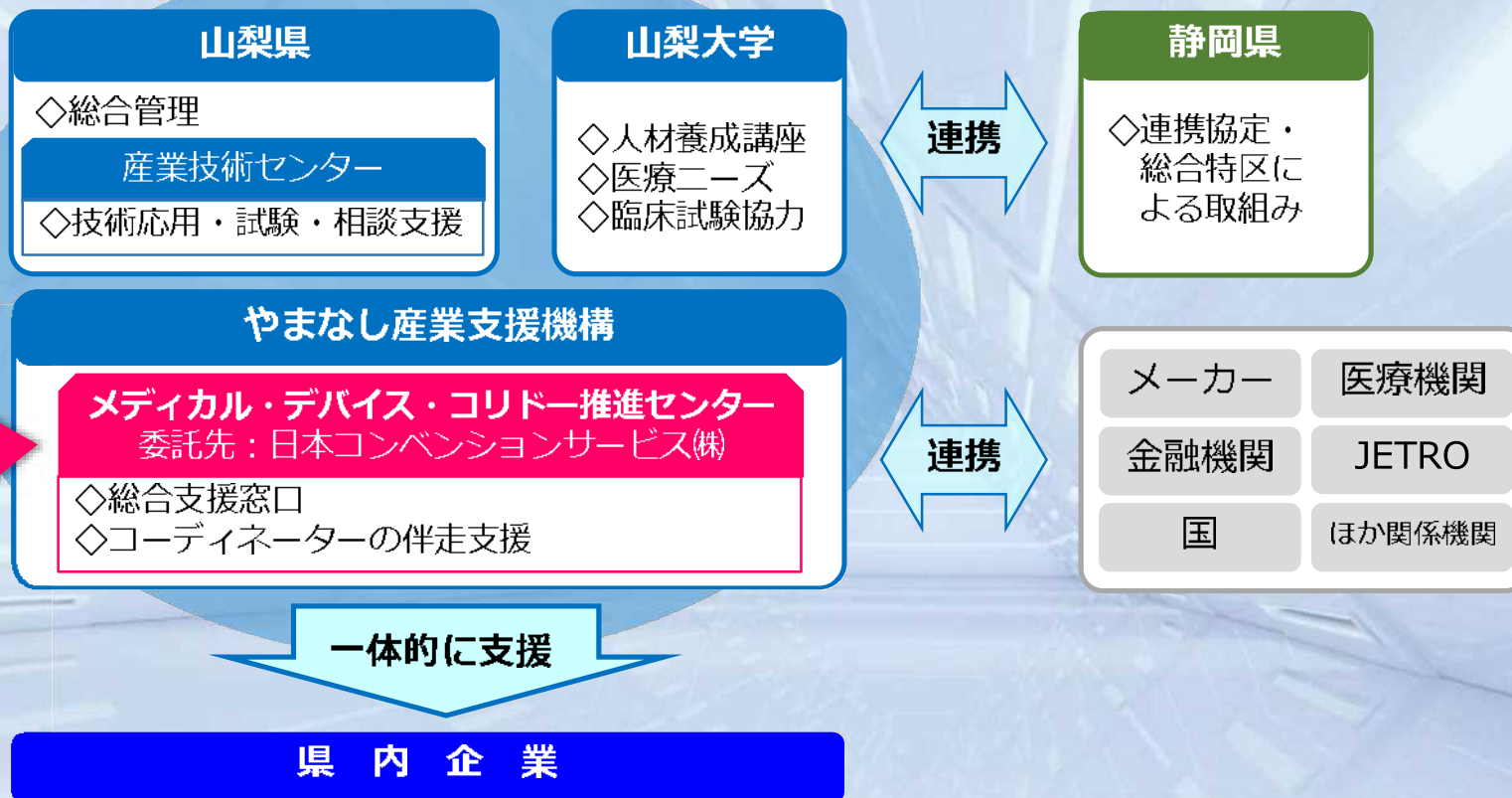
計画の柱

- | | |
|-----------|------------------|
| I 支援体制の確立 | II 企業支援策の充実・強化 |
| III 連携の促進 | IV 人材の確保・育成、情報発信 |



I 支援体制の確立

メディカル・デバイス・コリドー推進センター設置（R2.6～）



スーパーバイザー

国立循環器病研究センター名誉所員
妙中 義之 先生

- 医療ニーズのスクリーニング、市場性判断
- 総合的な助言

コーディネーター

- 医療機関・製販企業訪問マッチング
- ニーズ（シーズ）収集・蓄積・選定
- 知的財産権等の特許相談・支援 等

II 企業支援策の充実・強化

メディカル・デバイス・コリドー推進センター 相談・支援活動

相談・支援

県内外の企業からの多岐にわたる相談・支援要請に対し、要望に即した支援を実施

R4相談件数 (R4.4~R4.12) : 728件 (127社)



	R2	R3	R4
相談件数	366	654	728
部材供給 (取引斡旋)	123	252	402
新製品開発・評価	85	151	132
業登録・許可取得	32	18	15
販路開拓・拡大	47	89	56
知的財産権	16	44	44
人材確保・育成	26	37	16
資金調達	12	39	33
技術面	15	10	9
経営全般	8	5	19
その他	2	9	2

II 企業支援策の充実・強化

メディカル・デバイス・コリドー推進センター活動実績

① 部材供給

- センターへの部材供給に関する相談件数
R4.4~12 402件
- 県外中心に発注開拓中
例：仙腸関節用腰痛ベルトの樹脂成型パーツ

③ 資金調達

- 国や県の競争的資金獲得を含めた金融面での支援
例：大手メーカーからの新規受注に伴う工場建設
〔 R3：シンジケート成約 20億円
R4：設備貸与(割賦販売) 約1億円 〕

② 開発支援

- 山梨大学医学部附属病院を中心に県内医療機関のニーズや県外製販メーカーの開発ニーズの収集を行い県内企業に展開
例：薬剤搬送ロボット実証実験開始

④ 販路開拓・拡大

- 展示会・商談会のほか、販売促進個別支援を実施
- 首都圏の販路開拓コーディネーターを増員、マッチング強化

Ⅲ 連携の促進 静岡県との連携の進展

連携協定締結 ～ 総合特区の拡大

- R1.12 静岡県と「医療健康産業政策における相互の連携」に関して協定を締結
- R3.4 研究開発拠点や高い技術力を有する企業等が立地する本県7市町をふじのくに先端医療総合特区に追加

【数値目標】

医療分野に活用可能な山梨県企業の高い技術力について、静岡県企業がファルマバレーセンター及びメディカル・デバイス・コリドー推進センターに相談した件数

100件／1年間 ⇒ R4実績：12月末現在89件 ※年間100件達成見込

両県連携事業の展開

- 展示会への共同出展（第97回日本医療機器学会大会／パシフィコ横浜）
- 両県工場見学の開催 等
 - ↳ 技術シーズ発表をきっかけとして商談に発展、取引成立の見込みあり



展示会への共同出展



両県工場見学

IV 人材の確保・育成、情報発信 医療機器産業技術人材養成講座（山梨大学）



講座概要

- 開講期間：4月～翌年2月（80コマ、120時間）毎週火曜日18:00～21:00
- 場所：山梨大学 融合研究臨床応用推進センター ほか
- 内容：
 - ・医療機器関連法令の規制等に関する概論
 - ・山梨大学医学部附属病院内の手術室・ICU等の見学
 - ・医療機器製作実習・模擬審査・成果報告会 等
- 修了人数：R4年度 20名（H27～R3年度累計 140名）

資格要件緩和の適用

- R4年度～ 沼津高専F-metと同様、認定講習による資格要件緩和が適用
- R5年度～ 両県での相互認定（予定）

R3医療機器制作実習から製品化した
「創洗浄器」



IV 人材の確保・育成、情報発信 メディカル・デバイス・コリドー関連成果の情報発信

<県民向け> 取組成果のメディア掲載

- コリドー構想や製品開発、OEM・部材供給等の成果を地元メディアを中心に情報発信
例：県広報誌での特集、地元新聞の1面への記事掲載

<企業向け> 県内企業カルテ公開

- 各企業の保有技術等、県外企業とのマッチングの基礎資料
- コリドー推進センターHPに情報公開

<県外・海外向け> 広報・情報発信強化

- 外国特派員協会を通じて海外へ情報発信（予定）
- メディカル・デバイス・コリドー構想の紹介動画をYouTubeで公開



山梨県広報誌にて取組紹介

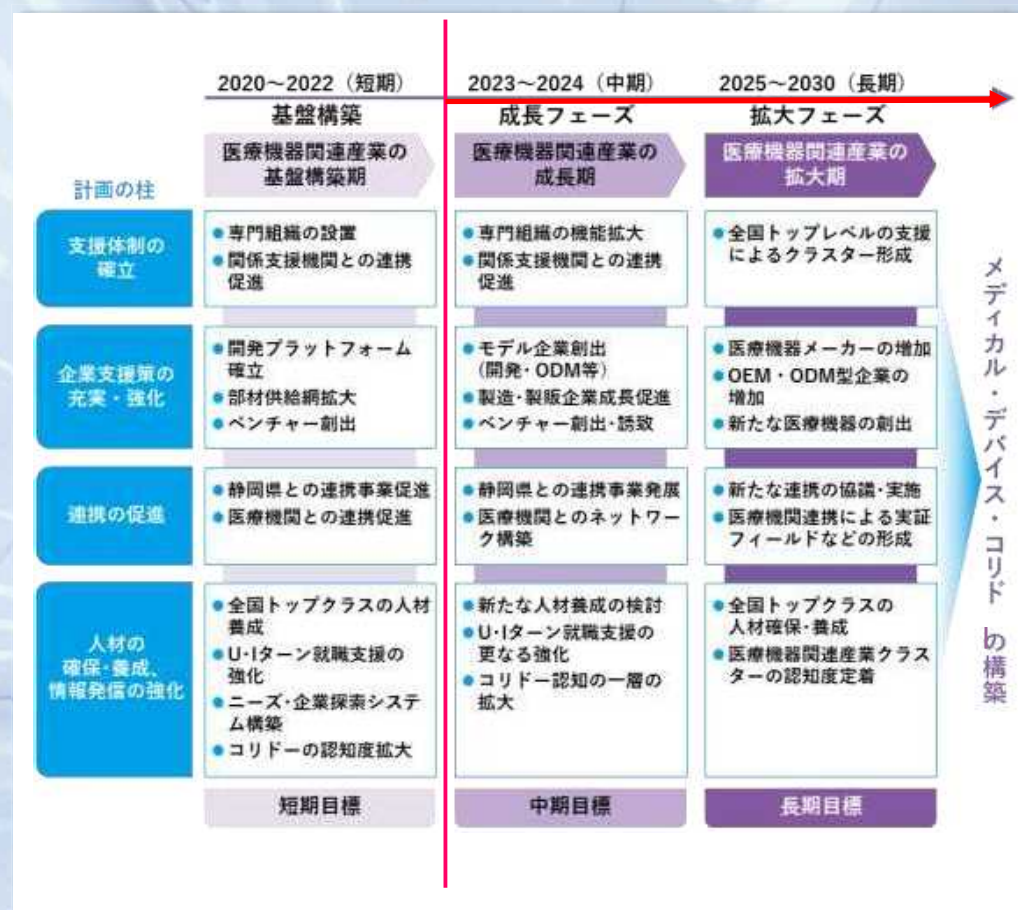


コリドー構想紹介動画YouTubeで公開中

メディカル・デバイス・コリドー推進計画 次期フェーズへの移行

「基盤構築期」から 「成長・拡大フェーズ」へ

- R2～R4年度の「基盤構築期」は、概ね順調に成果を創出
- R5年度からは「成長・拡大フェーズ」に移行し、構想実現に向けて支援を強化
- 専門組織の機能拡大、モデル企業創出などに取り組む
- 静岡県で展開される医療田園都市構想とも連携し、ヘルスケア分野でも事業を展開



メディカル・デバイス・コリドー2.0 構想実現のための3つの新機軸

コア：部材供給・研究開発支援

- 部材供給実績の積み上げ
- 中核企業クラスターの形成

軸①高度化

- 首都圏を中心としたスタートアップとのオープンイノベーション推進
- 先進的デジタル医療機器等の実証フィールド形成、開発促進

軸②ヘルスケア分野振興

- 山梨大学等との連携による、臨床データ創出の体制構築と関連製品の展開

軸③海外部材供給戦略

- 海外医療機器メーカーとのマッチング
- JETRO等と連携した海外展開伴走支援の実施

